

2011 年度第 3 回理事会議事録

期日：2012 年 3 月 9 日（金）15:30～17:30

場所：公益社団法人 日本放射線技術学会 事務局小会議室

出席者：梅田雅宏，小倉明夫，菊地克彦，土井 司，

室 伊左男(委任)，熊代正行(委任)，清水 徹(委任)，中島康雄(委任)，山下康行(委任)

報告事項

1. 第 7 回 MR 専門技術者認定試験開催報告

認定試験会場：鶴見大学会館 B1F メインホール

試験開催準備委員会：2012 年 3 月 3 日 17:00～18:30

認定試験：2012 年 3 月 4 日 10:00～15:00（スタッフ 8:45～16:45）

第 7 回認定試験受験申請者：167 人

受験資格者：159 人（書類審査不備：8 人）

第 7 回認定試験受験者：150 人（事前連絡欠席：5 人，無断欠席：4 人）

2. 認定試験結果：第 7 回磁気共鳴専門技術者認定試験実行委員会

(1) 平均点

第 7 回 第 1 部：10.3 ，第 2 部：13.2 ，トータル平均：60.2 / 100 点

(2) 得点分布

～29 点：1 人，30～39 点：5 人，40～49 点：24 人，50～59 点：37 人

60～69 点：40 人，70～79 点：32 人，80～89 点：9 人，90～：2 人

3. 更新のための安全管理講習会受講者：37 人

今回から事故の実態調査報告の講義 20 分を追加した。

議事

1. 第 7 回磁気共鳴専門技術者認定試験の合格基準の決定

60 点とし 83 人を合格とする。 対受験者合格率：55.3%，対申請者合格率：49.7%

トップ 3 位までをホームページで氏名を公表する。

[採点方法について]

マークシート，スキャナ方式を検討する。

2. 第 2 回 MR 専門技術者認定者の更新

第 2 回認定試験合格者 37 人の内、36 人が更新の申請

12 人の上級 MR 専門技術者を申請について論文の審査を行った。

審査のない論文は、論文として認めないこととした。

結果：12 人中 10 人を上級 MR 専門技術者として認めた。

次回の更新は 2017 年 3 月。

3. 第 7 回 MR 専門技術者の認定のスケジュール案

3 月 9 日 理事会：MR 専門技術者の認定

15 日 ホームページで合格者受験番号の公開

20日 認定試験合格証と不合格証の発送（封書）

4月20日 MR 専門技術者の認定申請手続きの締め切り

合格通知の写し，受験票の写し，申請書，認定料振込証の写しの4点

5月10日までに MR 専門技術者認定証の発行（事務局で作成）

更新のための個人表と定款・規約集を同封する

不合格者，試験欠席者：次回以降の性能評価試験の書類審査を免除する。

次回試験時に JART の特別資格申請の期限切れを今回同様に注意勧告する。

欠席者9名の支払い済受験料は次回試験に持ち越す（返金はしない）。

4. 第2回 MR 専門技術者の更新

理事会で承認後、MR 専門技術者および上級 MR 専門技術者の証書を作成する。

新定款を大至急印刷し同封できるようにする。

5. 定款ならびに諸規定の見直し

NPO 法人化に伴う整合性と今までの規約，細則を見直した。

旅費規定を規約集に入れる。

6. 来年度事業について

(1) 各部位のお奨め撮像条件の検討委員会の開催

既に検討委員会の各地区の代表者に通知し、検討を始めてもらっている。

2012年12月末をめぐりにホームページのシーケンスの見直しを行う。

(2) 医療安全管理セミナーの開催

開催規模を広げ、主たる活動にするための方策を練る。

[例] 初心者向けとリーダー育成のためのセミナーの2種類にしてはどうか。

カリキュラム（講義内容のマニュアル化）を作成する。

研究会などを利用して多くの地域で開催する。

専門技術者にはリーダー育成コースの受講を勧め、その場合に「参加印」をする。

(3) 磁気共鳴専門技術者制度の有用性の調査

事故の実態調査結果を磁気共鳴医学会に論文を執筆中

7. 2012年度のスケジュール（案）

2012年6月 第1回理事会 第8回試験のスケジュールの決定

試験内容の検討，試験作成検討委員の選出（関西地区）

2012年9月 認定試験作成委員会の結成

2012年10月 各団体の会誌ならびにHPで試験案内の広報

2012年12月 申請受付と書類審査

2013年1月 第2回理事会 認定試験受験者の認定

試験準備ならびにスケジュールの確認

[更新手続きの案内状送付]

2013年2月1日～28日 第3回認定試験合格者の更新受付

2013年3月 第8回 MR 専門技術者認定試験（神戸大学の予定）

2012年3月中旬 第3回理事会 認定試験合格者の認定

以上